

## 第9回中海会議【概要】

H30.8.20 ANAクラウンプラザホテル米子（米子市）

### 議事（部会・ワーキングからの報告事項）

#### （1）中海湖岸堤等整備に係る調整会議（説明者：国土交通省出雲河川事務所）

##### 【意見等】

##### ■松江市長

- ・大橋川改修工事に精力的に取り組んでいただいているところだが、松江の心臓部である白潟本町の拡幅工事で60数件の用地買収が控えているので、これがスムーズに進められるよう予算確保をお願いしたい。
- ・中海湖岸堤整備に併せて設置される水門付近に砂がたまるため、国交省により撤去されているところだが、今後は砂がたまらないよう枕木川水門での対応と同様の防止施設の計画的な整備をお願いしたい。

##### ■出雲河川事務所長

- ・予算確保については、しっかりやっていきたいと思う。
- ・水門前の土砂堆積に対し、枕木川水門では突堤を設置したが、他の箇所については、土砂の堆積量や堆積の状況、頻度等をよく観察しながら検討していきたい。

##### ■境港市長

- ・中海湖岸堤の整備については鋭意進めていただいているところだが、境水道の護岸整備は境港市の内水対策が明らかになった時点で調整・検討して整備に向かうこととなっており、現在、市の下水道整備も外江地区を事業認可区域に含めるという最終段階となっていることから、外江地区の境水道護岸整備について検討をお願いしたい。

##### ■出雲河川事務所長

- ・斐伊川治水対策に係る予算確保については、しっかりやっていきたい。
- ・境水道の外江護岸については、背後の下水道計画が進んでいることから、整備に向け調整させていただきたいと思う。

#### （2）中海の水質及び流動会議、中海覆砂検討WG（説明者：鳥取県環境生活部水環境保全課）

##### 【意見等】

##### ■松江市長

- ・北部承水路については、悪臭の他にも船舶の出入りのため土砂の浚渫要望があり、土砂を取れば解決するのか、あるいは北部承水路にトンネルのようなものをつくって、流れをつくり出すのがよいか、その方法について三者（国交省、島根県、松江市）で調整をお願いする。
- ・窪地の覆砂や埋め戻しは年数が経つと効果がないということで、国土交通省では浅場造成と覆砂に取り組んでいる。そうした方法の取れない米子湾のような場所での対策というのは何かよい方法があるのか教えていただきたい。

##### ■鳥取県水環境保全課

- ・全部の窪地を埋戻せば、流動、水のエネルギーが、深さが浅くなることで、米子湾に到達しにくくなり、改善効果につながると事務局としては考えていない。どのあたりの窪地を埋戻せば効果的なものとなるか引き続き検証していく必要があり、改善効果とコストについて未検討であるので、引き続きWGで行いたいと考えている。

## ■鳥根県知事

- ・昨年度の報告同様に、流入負荷の影響が大きく窪地の影響は小さいわけで、まず、流入対策を検討すべきでないか。湖内対策については、引き続き国が実施中の浅場造成事業の早期完了を目指してはどうか。

## ■境港市長

- ・海藻の刈り取りへの県の助成制度があるが、この制度が打ち切りとなると聞いている。肥料にして事業として展開することとは切り離して海藻を刈り取り、湖外へ搬出することにより栄養塩類が除去されることに着目すれば助成措置を打ち切ることとはどうかと思う。

## ■鳥取県水環境保全課

- ・以前、2団体の取組として実施。1団体は今年度より、クラウドファンディングを活用。もう1団体では海藻の回収と肥料の販路に会社として分離して取組を進められている。現状を聞き取りし今後、必要な支援があれば検討したい。

## ■米子市長

- ・米子湾の状況について、下水道普及において鋭意努力しているところであり100には近づいていない。一方、水洗化率は合併浄化槽を含め90前後まで進んできている。そうすると流入負荷としてできることは農薬等となるが、具体的に流入負荷を抑える方法を研究し教えていただきたい。
- ・また、地形的に三方が囲まれ流れが無く汚れやすい状況である。改めて、流れをよくするための方法について知恵を出していただきたい。
- ・浅場造成については、効果があるという報告があったので、大変ありがたいと思っている。

## ■安来市長

- ・生活排水や企業からの排水ばかりでなく、農地における施肥や森林における針葉樹といった植林、河川3面コンクリート張等により自然が壊されるなど色々な条件がある。また、米子湾は地形的な要因もあるので総合的に一度、見直す必要があると思う。
- ・この50年ほどで我々が汚したものであり、少しずつ改善しているので、短期にできることや中長期で対応するものを、一つずつ解決していけばよい方向に進む。

## ■鳥取県水環境保全課

- ・流域対策における下水道整備の効果等については、来年度の第7期水質保全計画を樹立する際に両県で検討させて頂きたい。

## ■松江市長

- ・宍道湖で一番問題になっているのは水草が繁茂。結果、シジミの生育へ悪影響を与えたり、ヘドロ化している。解決策として塩分濃度をあげる方法があると聞いた。中海から大橋川、宍道湖へ流れをつくり出すためにはどのような方法があるのか分かれば教えて欲しい。

## ■鳥取県知事

- ・鳥取県の湖山池も閉鎖水域で、河口の水門操作を変更し塩分濃度を上げた。結果、アオコの発生を抑えることができ、悪臭が減った。また、シジミの生育にはむしろプラス効果となった事例も有り、色々な事例を検証しながら、アイデアがあるのか中海会議で検討事項に入れていただきたい。
- ・窪地や覆砂等については、基本的には国土交通省の浅場造成や覆砂を進めていただきながら窪地の影響について現状分析、対策を中海会議としても事務局(WG)を中心にさせていただきたい。
- ・北部承水路など閉鎖水域もモニタリング、調査し、対策を中海会議にフィードバックさせていただきたい。
- ・アマモまたはオゴノリの活用については、両県共同事業も視野に鳥取県で地元等とも話をし、解決方法を考えていきたい。

- ・以上のように取りまとめさせていただきたい。

**(3) 中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ** (説明者：米子市経済部農林水産振興局)

**【意見等】**

特になし

**(4) 中海の利活用に関するワーキンググループ** (説明者：島根県政策企画局)

**【意見等】**

**■出雲河川事務所（提案）**

- ・年々増加する外国人観光客を呼び込むため、まず、国内観光客の中海圏域に対する認知度を向上させる取組みが必要ではないかと考えている。
- ・すでに行われている中海周辺の地域観光資源を活用した取組みを効果的に連携させるため「中海利活用推進プログラム」を策定し、関係機関が協働して取り組むことを提案する。

**■松江市長**

- ・中海北部を周遊する新たなサイクリングコースの設定に向け、関係機関と調整をしている。
- ・水陸両用機の拠点施設より南側のコースとなる県道は狭隘な区間があるため、拡幅整備をお願いしたい。

**■中国地方整備局長**

- ・今後、増加する外国人観光客を中海地域に呼び込むため、関係者で知恵を出し合い、モデル地域となるような取組みができないかと考えている。

**■安来市長**

- ・中海周辺の観光環境整備として、かねてより要望している中海架橋の整備についてもお願いしたい。

**とりまとめ**

**■島根県知事**

- ・鳥取、島根両県が色々な面で相談していくことが大事。今後は東京オリンピックに向けて強化していくことが必要。

**■鳥取県知事**

- ・きれいな中海・水鳥の楽園「サンクチュアリー」のラムサール条約湖沼として、守り・育て・発展させるために、できることを一つ一つ丹念に仕上げるよう関係者の協力・支援が必要となる。